

対象機器： 手持ち電動工具、可搬式電動工具、園芸工具など

■背景及び課題

- ・手持ち電動工具、可搬式電動工具、園芸工具に共通する事項を取り纏めた共通規格(IEC62841-1)が開発された。
- ・あわせて、各工具の規格が開発されている。

■活動方針

1. 各工具は、電気的な構造が非常に類似。共通規格ができることによって審議効率化に繋がる。
2. 各工具の規格の改正についても検討開始。最終的には、新たな「共通規格」「個別規格」とする。
3. 新たなIEC規格体系に合わせてJISを改定する。



◆ 電動工具の一例(各社Webより)

■成果

1. 日本より、従来はバッテリー機器では存在しなかったコードレス刈払い機の規格案を、ISO11806-1(エンジン刈払い機)を参考にして提案した件について、現在、CDV(投票用委員会原案)にて審議中。
2. IEC 62841-2-3(グラインダ)で、砥石直径が100mmを超えると補助ハンドルなどが必要となる件で、近年105mmのホイールが増えているので、日本から105mmに変更することを提案した。結果、アジア特有の事情として日本のデビエーションとなった。

■今後の予定

1. 規格開発への協力実施。
2. 新たなIEC規格体系に合わせたJIS化検討。